日台の経済協力テーマにシンポ

日台の協力促進を考えるシンポジウム「台湾の明日への展望～TPPとRCEP参加の意義に関して～」（主催・産経新聞社、共催・台北駐日経済文化代表処、後援・フジサンケイビジネスアイ）が4日、東京都千代田区のプレスセンターホールで開かれた＝写真。

台湾は環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）や東アジア地域包括的経済連携（RCEP）に参加の意思を表明している。台湾経済研究院の江丙坤（こうへいこん）理事長は「台湾の国際経済戦略」と題して基調講演を行い、「台湾のTPP加盟に向け日本が力を発揮してほしい。日台のビジネス提携をさらに進めることが課題だ」と訴えた。

拓殖大学の渡辺利夫総長は「台湾の国際空間をいかに広げるか」と題して基調講演。続くパネルディスカッションでは「モノばかりでなく、サービス分野においても日本と台湾が新しい価値を創出することができればいい」と話した。

平成26年11月05日（水）　フジサンケイビジネスアイ